一斉学習　児童生徒実践型

実践タイトル　实物投影機を用いて手を洗うことに関心を持たせる

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

实物投影機
・手元に注目することが難しい生徒が、注目することができるようになる。

実物
・自分の手が拡大されることで、注目することができるようになる。

参考にしてほしいポイント

・注視することが難しい生徒たちに興味関心を持たせ、授業に参加させるために、導入の紙芝居からプロジェクターを使用したり、必要な場面で大画面に映し出したりしているところ。

本日の展開（主な学習活動）

<table>
<thead>
<tr>
<th>学習の流れ（分）</th>
<th>主な学習活動</th>
<th>ICT機器・教材、コンテンツ等</th>
</tr>
</thead>
</table>
| 導 入            | 0            | ・实物投影機
                   | 10           | ・プロジェクター（写真1） |
|                 | ・手洗いをしながら頭に病気になった子どもの紙芝居を見て、手にいびきが付いていること、そのイビキが体に悪いことをすることを知らせる。 |
|                 | 10           | ・手洗いチャッカー使用、付属のローションをつけると白く光ることを確認する。 |
|                 | 40           | ・支援を行わず手洗いを行い、手洗いチャッカーを使い洗い残しがあることを確認する。 |
|                 | 40           | ・教科の本に合わせて、丁寧な手洗い方を知る。 |
|                 | 50           | ・手洗いチャッカーで確認し、丁寧に洗うと白く光らなくなることを確認する。 |
|                 | 6枚のポーズの写真を示し、汚れの残りやすい部分と洗い方の確認をする。 |
|                 | 6枚のポーズの写真 | ・实物投影機
                   | 6枚のポーズの写真 | ・生徒の手（写真3） |

ICT活用への児童生徒の反応等

・大きな画面で映し出されることで、全員が興味を持ち授業に参加することができた。
・手洗いチャッカーを使用している場面を大きく映し出すことで、自分の手の様子に注目することができた。

活用効果

評価の観点　運動や健康・安全への関心・意思・態度
・健康・安全についての知識・理解　具体系要　画面を注視することができ、授業に積極的に参加することができた。
・手には、いびきが付いていることを知り、丁寧な手洗い方を知ることができた。

実践の手応え

・生徒は、自分の手が大きく映し出されることに興味を持ち、授業に積極的に参加することができた。また、手洗いの仕方をみんなに見せることで、他の生徒を意識して授業に取り組むことができていた。